

石川県立金沢伏見高等学校 図書委員会 図書だより 127号

平成 31 年 3 月 15 日発行

弥生 (三月)

「弥生」は、草木がいやがうえにもおい茂る季節を意味する 「いやおひ」から生まれた言葉。

春の訪れとともに、草が萌え、木々が芽吹く。

うららかな日差しに誘われ、眠気を誘う「夢見月」。

またの名を「桜月」、「花見月」。これは待ち遠しい桜を恋い慕う呼び方でしょう。

日ごとに暖かくなってきて、新しい季節を迎えるための準備が始まります。

読みたかった本や、偶然見つけた本など、図書室に来て本を借りて読んでみてください。

本から新しい知識を吸収したり、楽しみを見つけてリラックスしてみましょう。

そんな春休みを過ごして、次の学年を迎えてはいかがですか。

(『心ときめくことばの12か月』参照)

春休みの貸出について

春休みの間、図書室の本の貸出について、期限と冊数を変更します。 3月 18 日 (月) から

貸出期限 4月10日(水)まで

貸出冊数 1人5冊まで

2週間の休暇を利用して、興味を持った本を自由に選んで、じっくり読書してみてください。



BOOK OF THE YEAR 2018 今年一番支持された小説はこれ!

2018年最も輝いた本を紹介します。下線は図書室の所蔵本です。(「ダヴィンチ」2019年1月号より)

1位 <u>下町ロケット ゴースト</u> 池井戸濶 9位 <u>屍人荘の殺人</u> 今村昌弘 17位 <u>青くて痛くて脆い</u> 住野よる

2位 ファーストラブ 島本理緒 10位 オリジン (上・下) ダン・ブラウン 18位 十二大戦対十二大戦 西尾維新

3位 <u>未来</u> 湊かなえ 11位 <u>たゆたえども沈まず</u> 原田マハ 19位 <u>おらおらでひとりいぐも</u> 若竹千佐子

4位 あやかし草紙 宮部みゆき 12位 彼方の友へ 伊吹有喜 20位 <u>ビブリア古書堂の事件手帖</u> 三上延

5位 そして、バトンは渡された 瀬尾まいこ 13位 <u>キラキラ共和国 小川糸 21位 西郷どん!(前・後)</u> 林真理子

6位 花だより 高田郁 14位 インド倶楽部の謎 有栖川有栖 22位 <u>未来のミライ</u> 細田守

7位 <u>ののはな通信</u> 三浦しをん 15位 アルスラーン戦記 16 田中芳樹 23位 烏百花 阿部智里

8位 魔力の胎動 東野圭吾 16位 おまじない 西加奈子 24位 凶犬の眼 柚月裕子

本屋大賞候補作品 (4月9日発表)

2019年の本屋大賞候補作です。図書室に所蔵していますので、読んでみてください。

『愛なき世界』

『ひと』

『火のない ところに煙は』 『そして、バトンは 渡された』 『ベルリンは

晴れているか』

<u>三浦しをん</u>



<u> 芹沢央</u>

瀬尾まいこ

深緑野分











恋のライバルが人間だとは限らない!風変りな理系の人々とお料理男子が紡ぐ、美味しくて温かな青春小説。

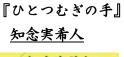
両親を亡くし、大 学をやめた二十歳 の秋。でも、ひと りきりじゃなかっ た。青さ弾ける傑 作青春小説! 「怪談を書きませ んか」突然の依頼 に、作家の「私」 は、かつての凄惨 な体験を振り返 る。戦慄の暗黒ミ ステリ! 四回も血の繋がらない親の間をリレーされた十七歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる、感動作。

戦勝国による侵略、敗戦。何もかもが傷ついた街で少女と泥棒は何を見るのか。圧倒的スケールの歴史ミステリ。

『さざなみのよる』 <u>木皿泉</u>

『ある男』 平野啓一郎

ある男





『フーガはユーガ』 『熱帯』 伊坂幸太郎 森見登美彦





小国ナスミ、享年 43。その死は湖に 落ちた雫の波紋の ように家族や友 人、知人へと広が り――命のまばゆ さを描く感動と祝 福の物語!

人はなぜ人を愛するのか。夫であったはずの男は、まったく違う人物であった…。平成の終わりに世に問う、衝撃の長編小説。

人として一番大切なものは何か。若さ心臓外科医に極めるミッション。療ミステリーのなりを強いますが挑むヒューマンドラマ。

優我はファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟・風我のこと、子供時代のこと、兄弟だけの特別な「アレ」のこと。 僕たちは双子で、僕たちは不運で、だけど僕たちは、手強い。 『熱帯』は、奇妙な本だった!東京で始まった冒険は京都を駆け抜け、満州の夜を潜り、数多の語り手の魂を乗り継いで、いざ謎の源流へ一!